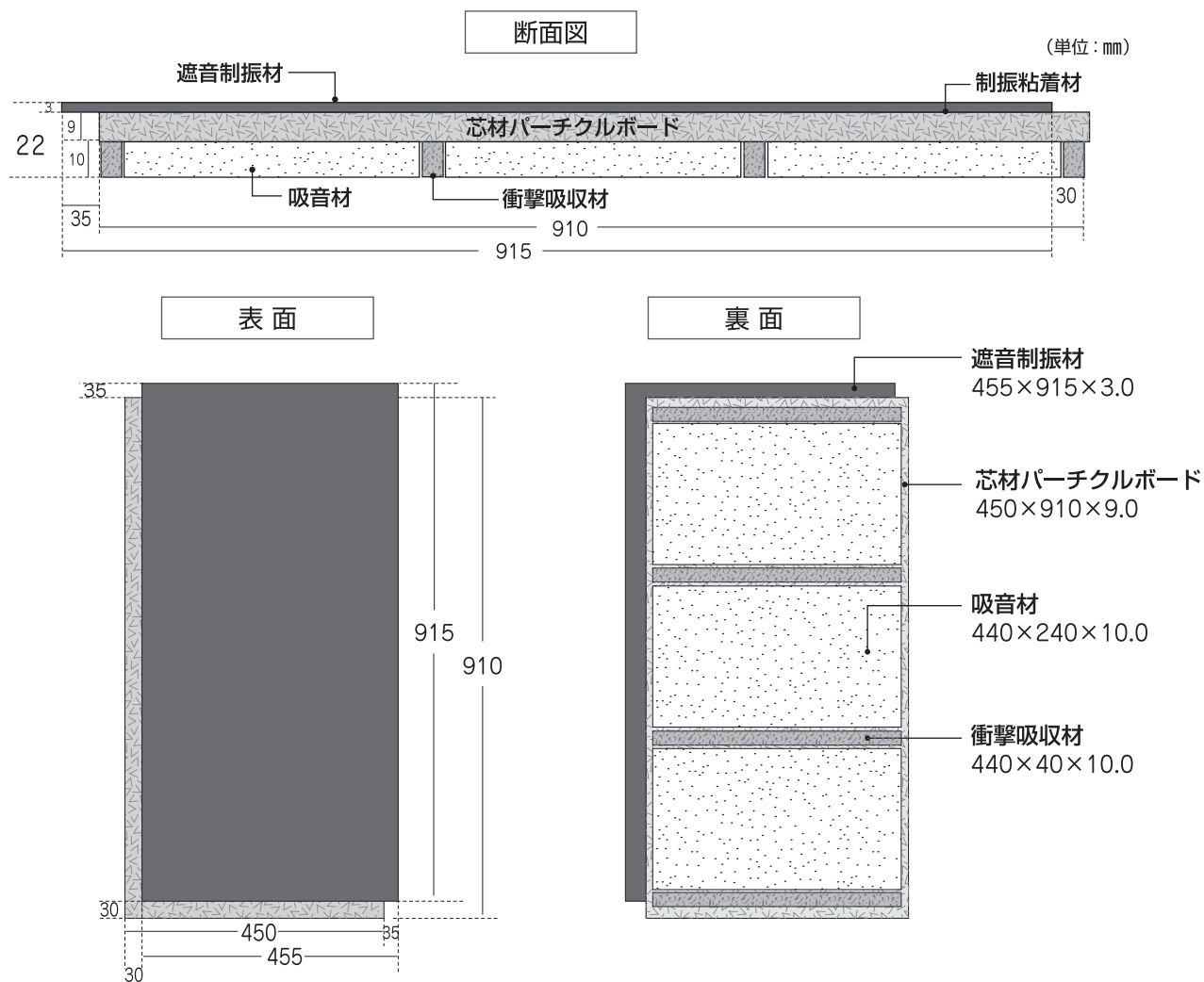


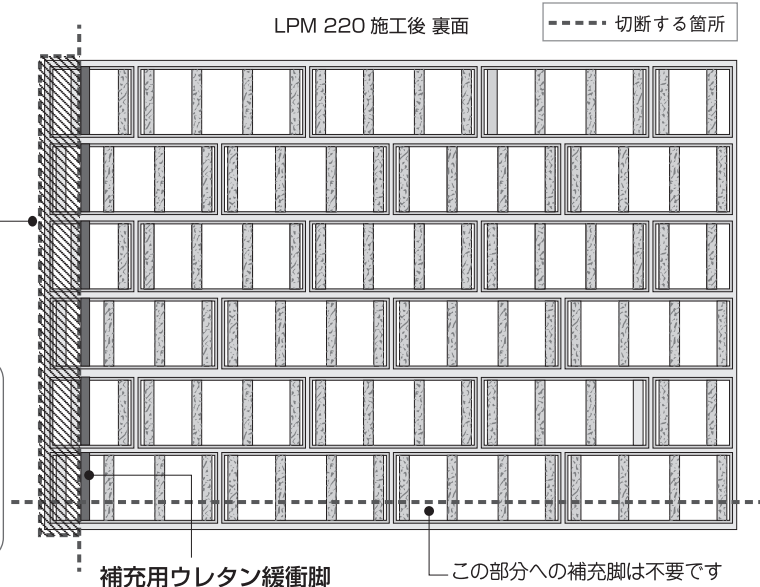
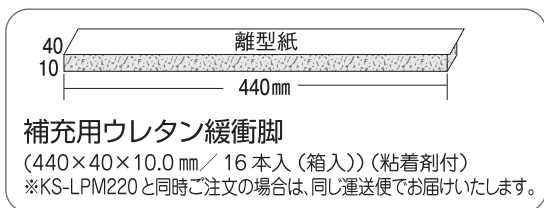
サイレント・トライマット KS-LPM220 【製品図】



サイレント・トライマット KS-LPM 220 補充用ウレタン緩衝脚

【例】6帖施工の場合
右図の様にカットすると6本必要となります
この部分をカットして補充脚を取付ける

【別売】



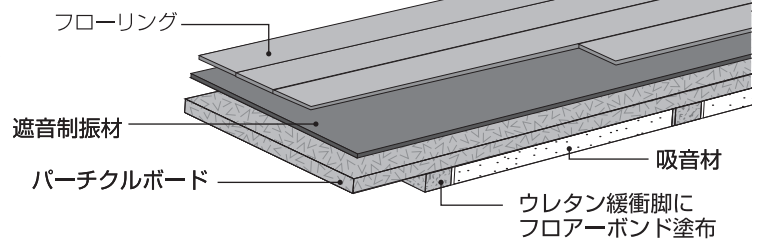
株式会社 特殊建販

【サイレント・トライマットKS-LPM 220 施工要領書】

1. KS-LPM220 の敷き込み

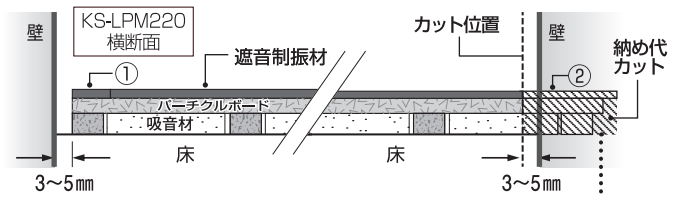
1-① 下地の不陸を確認・調整して下さい。
(必要の場合はセルフレベルリング等で調整して下さい)

1-② 敷き込み方向を決める。
フローリングはウレタン緩衝脚と直行方向とする。
サイレントトライマットはレンガ貼りして下さい。



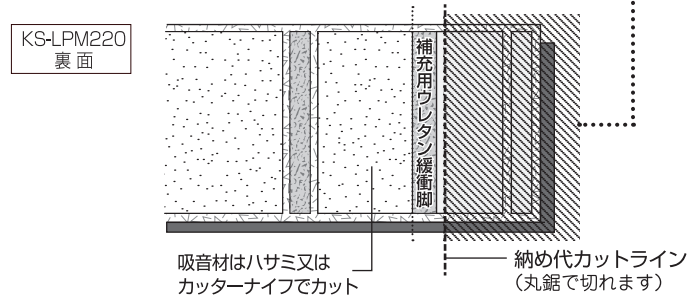
1-③ 敷き込みは壁基準とし壁面より3~5mm 隙間を取る。

ウレタン緩衝脚にフロアーボンドを塗布の上、敷き込む。
(釘、ビス等での固定は振動が伝播する為不可)
貼り始めは、パーチクルボード端部を基準として敷き詰めていき、最終端部をカットし、②遮音制振材を①(最初の端部)に接着し貼り合わせて下さい。



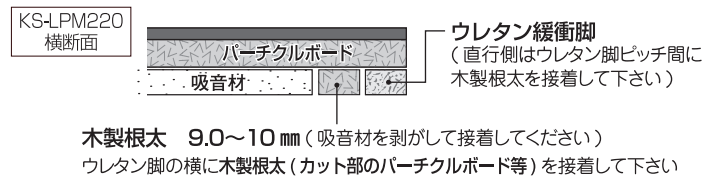
1-④ ウレタン緩衝脚の取り付け

納め代をカットしウレタン緩衝脚が無くなった場合、
カットした緩衝脚を取付けるか、別売りの補充用ウレタン緩衝脚を貼り付けて下さい。

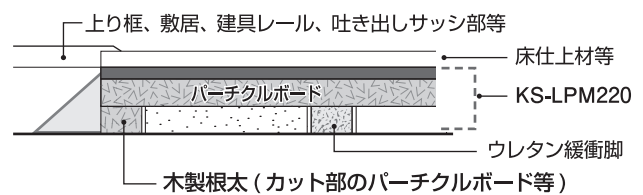


1-⑤ 敷き詰め

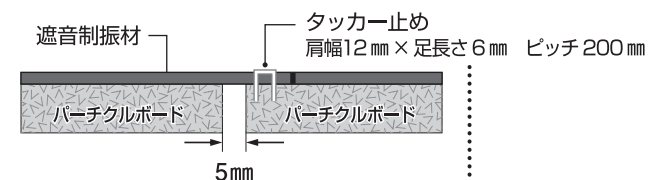
際根太
①特別な荷重 (100 kg / m²以上) が予想出来る部分には、壁際面及び重量物の下部 (冷蔵庫キッチン等) に、厚み 9.0~10.0 mmの木製根太 (カット部のパーチクルボード等) を準備しウレタン緩衝脚の横にフロアーボンドを塗布の上はめ込んでください。



②上り框、敷居、建具レール、掃き出しサッシ部等の沈み込み対策として木製根太を施工して下さい。



遮音制振材と遮音制振材の端面を突き当てる。
(パーチクルボード間に5mmの隙間ができます)
遮音制振材とパーチクルボードのラップ代30mm部分を200mmピッチでタッカー止めし、隣と固定してください。



2. フローリングの敷き込み

KS-LPM 220 を全面敷き込み、タッカー止めを確認し表面を掃除する。
無垢フローリングは、スティープルと接着剤の併用にて固定。スティープルは防音材のパーチクルボードに、とどく様に打ち込んでください。

